

(別紙)

鳥取県と一般社団法人 Work Design Lab との複業及びワーケーション推進に関する連携協定について

1 協定締結に至る経緯

2019年、県内銀行による企業の若手後継者支援プロジェクトを契機に同法人の石川代表が来県したことをきっかけに、本県でのプロジェクト拡大を目指す同法人と企業人材との関係人口の拡大を目指す鳥取県で連携を模索。

2020年には、Work Design Lab メンバーによるワーケーションを計画(新型コロナ感染症拡大に伴い中止)、都市部人材を対象に地域の魅力を紹介するオンラインセミナーを3回開催。

その後も鳥取短期大学の学生のキャリア形成支援や、観光人材育成、地元企業の DX 推進や複業人材活用推進等の取組をすすめるとともに、県外企業人材との連携を希望する市町村との連携検討を進めてきましたが、この度、継続的な県内での活動拡大が見込まれることから、連携協定の締結に至ったもの。

2 協定締結のねらい

[鳥取県]

- 同法人が持つ約130名(全員が首都圏の上場企業勤務者やそのOBを中心に多様なスキルや影響力をもつ複業実践者)によるワーケーションや複業の実践を通じた、関係人口の創出・拡大。
- 同法人の強みである、会員のスキルや経験を活用した、地域の課題把握段階からの参画による地域課題解決支援の活用による、県内地域・企業における複業人材の活用推進、活性化。
- ワーケーションへの理解や将来の二拠点居住・移住にむけた家族ぐるみの関係人口形成が期待される“ファミリーワーケーション”の推進に向けた同法人会員の実践経験、ノウハウの活用。

[一般社団法人 Work Design Lab]

- 会員の活動の場としての鳥取県の活用
会員毎に多様な関わり方を推進。移住している会員は首都圏との連携強化。二拠点活動の会員は県内活動エリアの拡大。また初めて鳥取県に関わる会員も多様なプロジェクトへの参加が可能となる。
- 同法人がすすめる地方での新規プロジェクトのモデルづくり
 - (1) 継続的な都市部と地方部の複業人材交流を可能にする「ローカル・コミュニティ・プラットフォーム(産官学金言の連携による都市部複業人材の受け皿となるコミュニティ)」の構築。
 - (2) 地域課題解決と人材育成を同時に実現する「Work Design School」の実施。
 - (3) 複業とワーケーションを組み合わせる「ジョブケーション(複業旅行)」の実施。
 - (4) 家族ぐるみの関係人口化を推進する「ファミリーワーケーション」の実施。

3 協定内容

- (1) 県内における一般社団法人 Work Design Lab 会員による複業及びワーケーション等の実施
 - (例) ・ 県内企業、自治体等の課題解決への会員参加の促進
 - ・ 会員向けワーケーション企画の制作、実施
- (2) 鳥取県での複業及びワーケーション等の受け入れ環境整備への協力
 - (例) ・ 県の複業及びワーケーションの情報発信及び企画運営等への協力
 - ・ ワーケーションによる地域課題解決、複業体験プログラム“Work Design School”の県内実施
 - ・ 県内企業、自治体等の課題解決や複業人材活用への協力
- (3) ファミリーワーケーションの普及及び推進
 - (例) ・ 本県が実施するファミリーワーケーションプログラム作成及びプロモーションへの協力
 - ・ 鳥取県での二拠点居住推進等にかかる課題解決、プロモーション等への協力

4 今回の協定締結を受けた一般社団法人 Work Design Lab の鳥取県内での活動予定

- 地元企業との共同による地域課題解決を目的とする事業会社の設立(スイコー株式会社(倉吉市)と設立予定)
- 鳥取市・倉吉市等へのサテライト拠点設置
- 市町村との連携促進 6月7日に大山町とも連携協定を締結予定
- 金融庁、県内金融機関の若手職員有志と産官学連携による地域課題解決を目指す“ちいきん会・鳥取ダイアログ”の設立(6月11日、オンラインフォーラムを開催予定)
- 鳥取短期大学「創造的観光人材育成プログラム及び寄付講座」の検討・実施における連携予定